

今回の計画は、大阪産業局のこれから進む道筋を明らかにするため、既存の取組みの見直しを行いつつ、現状をベースとした今後5年間（令和2～6年度）の取組方向を示すものであるが、令和2年度に府市と今後の事業移管や予算の交付金化などの検討を行う予定であり、こうした動向も踏まえ適宜見直しを行う。

■新法人設立の背景

- 大阪産業振興機構と大阪市都市型産業振興センターは、それぞれ大阪府と大阪市が連携しながら、大阪の中小企業を支援するサービスを積極的に展開してきた。
- しかし、経済のグローバル化が広がり、産業の技術革新が加速的に進化するなか、大阪の企業の9割以上を占め、大阪産業の基盤を支える中小企業の更なる発展が欠かせない。
- そこで、副首都を目指す大阪の、産業分野の都市基盤をさらに強化するため、そして、大阪府と大阪市が連携して大阪の産業振興を推進するために、大阪産業振興機構と大阪市都市型産業振興センターを統合して、新たに「大阪産業局」を設立した。

■大阪産業を取り巻く現状と主な課題

- 大阪企業のグローバル化  
⇒中小企業のグローバル化の推進により、企業の成長と大阪における国際競争力の強化を実現する。
- 有望ベンチャーの東京集中  
⇒“にしなバレー”や民間ファンド創設の動き等の追い風もあり、大阪発のベンチャー企業を育成・定着させ、大阪経済に寄与する企業を育てる施策を打つ。
- 事業承継の課題  
⇒潜在化しがちな中小企業の事業承継問題を掘り起こし、ニーズに応じた多様な承継支援サービスを展開する。

■財団各事業の取組方針

- 時代のニーズや今日の課題を踏まえ、中小企業と大阪経済の発展に向けて、在阪企業の国際展開、海外企業の大阪への投資を促す「国際ビジネス支援」や、大阪で芽吹く企業のさらなる発展や定着を促す「創業支援」「スタートアップ支援」、持続可能な大阪産業発展のために後継に悩む企業を支える「事業承継支援」に重点を置きつつ、各種中小企業支援の取組みを推進する。
- これらの取組みを推進する中で、事業の利用促進のためのPRや大阪産業局の知名度アップに向けて、ホームページやメールマガジン、SNS、とりわけマスメディア掲載による効果的な広報に取組む。
- あわせて、財団運営や事業実施の財源確保のため、マイルームおおさかの展示場を核とした収益の確保と財務の安定化（一般正味財産増減額±0）を図る。

今後5年間の運営方針 ※各事業ボリューム内 > 以降に示す数値は5年累計

<p><b>○創業支援</b> 大阪産業創造館の創業支援サービスメニューの大阪府域への展開と拡充を目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■創業支援、女性起業家等支援ネットワークとの連携強化</li> <li>■「大阪産業局・アンバサダー」の活用 等</li> </ul> <p>◇新たな取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>働き方改革により増加傾向にある「兼業」「副業」等多様な創業形態に対する支援メニューの充実</li> <li>外国人起業に対する積極的な支援の実施</li> </ul> <p>[事業ボリューム] 予算規模 141百万円/年 &gt; 創業社数 650社</p>	<p>[事業ボリューム] 予算規模 232百万円/年 &gt; 相談件数 44,500件、経営力強化件数 3,000件</p> <p><b>○経営力強化支援</b> 中小企業、小規模事業者に対するベーシックな中小企業支援事業として継続、強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■基本的なメニューの充実</li> <li>■時宜に応じた事業メニューの充実</li> </ul> <p>◇新たな取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会議所、商工会との連携による産業創造館事業メニューの大阪府域への展開</li> </ul> <p>[事業ボリューム] 予算規模 54百万円/年 &gt; 経営力強化件数 1,950件</p>	<p>◇新たな取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公正証書の廃止による利用者負担の軽減</li> <li>・予算年度前に仮審査・決定を行い、設備貸与ニーズに柔軟に対応できる新たな仕組みを構築（令和元年度から試行）</li> </ul> <p>[事業ボリューム] 予算規模 73百万円/年 &gt; 設備貸与事業額 95億円</p>
<p><b>○スタートアップ支援</b> 大阪、関西における世界へのゲートウェイとして、OIHを世界に伍するスタートアップ支援のコア拠点として確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■グローバルな視座での活動</li> <li>■関西のリソースを最大限に活用した支援機能の強化</li> </ul> <p>[事業ボリューム] 予算規模 127百万円/年 &gt; プロジェクト数 300件、資金調達額 80億円</p>	<p><b>○販路開拓支援（マーケティング支援）</b> 登録モニターの活用、マーケティングデータ分析・活用により、成果につながる支援策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■財団登録モニターの活用、モニター会等の開催による中小企業の商品開発の積極的な支援 等</li> </ul> <p>◇新たな取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外進出の際のマーケティング手法、戦略の立案支援</li> </ul> <p>[事業ボリューム] 予算規模 77百万円/年 &gt; マッチング仲介件数 850件、マッチング成約件数 125件</p>	<p><b>○人材戦略支援</b> 経営課題の解決に向けて、人材確保に必要な知識・情報の提供と、公的支援や民間サービスへの橋渡しなど、「企業と人をつなげる場」を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■支援機関の連携強化、フォローアップ、データの活用</li> </ul> <p>◇新たな取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業における人材戦略の構築サポートの観点から、多様な人材採用支援にかかるコンシェルジュ機能を強化</li> </ul> <p>[事業ボリューム] 予算規模 73百万円/年 &gt; 相談件数 2,270件、経営力強化件数 610件</p>
<p><b>○国際ビジネス支援</b> 国際ビジネス支援機関コンソーシアムの事務局として支援機関の連携を促進、中小企業の海外ビジネス展開を積極的に支援する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■国際ビジネス支援機関等とコンソーシアム形成、連携強化</li> </ul> <p>◇新たな取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アジアの中でも人気が高いタイやベトナムを含めたグレートメコン地域やハイテク先進地域において、ジェトロ大阪本部とタイアップした新たなビジネス事業の構築、展開。</li> <li>・2025年の大阪・関西万博の開催を見据え、日本市場への参入を希望する海外企業などの誘致促進を、ジェトロ大阪本部やO-BIC、IBPC大阪と連携を進めていく。</li> <li>・海外先進地域への展開支援を実施し、海外市場に挑戦する中小企業を積極的に支援する</li> </ul> <p>[事業ボリューム] 予算規模 137百万円/年 &gt; 国際ビジネス支援件数 8,500件</p>	<p><b>○販路開拓支援（マッチング支援）</b> 府内中小企業のニーズに対応した販路開拓支援サービスの強化により、効果的、効率的な商談機会の提供を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■支援機関の連携強化</li> <li>■効果の高い商談会等の実施</li> <li>■海外展開への支援</li> </ul> <p>◇新たな取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪、関西万博、SDGs等タイムリーなテーマの選定と中小企業への販路開拓機会の提供</li> </ul> <p>[事業ボリューム] 予算規模 230百万円/年 &gt; マッチング仲介件数 2,500件、マッチング成約件数 650件</p>	<p><b>○新事業の創出支援（先端技術ビジネス創出・事業化支援）</b> 万博会場に隣接する臨海部において、ソフト産業プラザを中心にIoT・ロボテック/ロジック分野の先端技術を活用したビジネスの創出拠点としての展開を図り、新たな事業の創出に向けた支援を展開するとともに、引き続き、新たなビジネスの事業化/展開を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■先端技術を活用した新規ビジネスの創出支援</li> <li>■実証実験支援の実施</li> <li>■有望なプロジェクトへのハンズオン支援 等</li> </ul> <p>◇新たな取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産学連携を進め、先端技術を活用したプロジェクトを創出・発掘する仕組みを構築し、プロジェクトの成長を一層加速化する取組を実施。</li> </ul> <p>[事業ボリューム] 予算規模 189百万円/年 &gt; 市場化件数 50件、実証実験件数 45件</p>
<p><b>○事業承継支援</b> 大阪府事業承継ネットワークによる事業承継支援を積極的に推進していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■気づきの喚起と個別支援の実施</li> </ul> <p>◇新たな取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「事業承継の成功モデル」を使った経営者の啓発</li> <li>・ベンチャー型事業承継支援の府域全域展開</li> <li>・後継者育成プログラムの充実</li> </ul> <p>[事業ボリューム] 予算規模 70百万円/年 &gt; 診断件数 59,500件、計画策定件数 6,100件</p>	<p><b>○販路開拓支援（ものづくり支援）</b> 府内中小ものづくり企業のニーズ・データを分析・活用しつつ、ものづくり中小企業の強みを生かした新たな事業展開を目指す取組みを進めるとともに、ビジネスマッチングを支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■支援機関の連携強化</li> <li>■効果の高い商談会等の実施</li> <li>■大手との商談機会の設定</li> </ul> <p>◇新たな取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産創館とMOBIOの企業データベースの統合による新たなものづくり企業マッチングデータベースの構築</li> <li>・大阪、関西万博、SDGs等タイムリーなテーマの選定と中小ものづくり企業への販路開拓機会の提供</li> </ul> <p>[事業ボリューム] 予算規模 228百万円/年 &gt; マッチング仲介件数 35,000件、マッチング成約件数 2,500件</p>	<p><b>○新事業の創出支援（クリエイティブ産業振興）</b> MEBIC、ODP等の各拠点で有効活用し、大阪で活動するクリエイティブ関連事業者のビジネス環境作りも視野に入れた、活動の場作りを実践する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■域内に集積した強みを活かし、結合し、反応させる</li> <li>■クリエイティブ関連分野と企業とのコラボによる新たな市場創出</li> <li>■グローバル化への対応</li> </ul> <p>◇新たな取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クリエイターの創業を支援するとともに、成長意欲ある優れたクリエイターと企業等とのネットワーク化をより一層拡充し、企業等へのデザイン思考の普及を図ることで、新たな製品・サービスの開発やイノベーションを促進する。</li> </ul> <p>[事業ボリューム] 予算規模 101百万円/年 &gt; コラボ件数 1,500件、ネットワーク構築数 750件</p>
<p><b>○経営相談</b> 「中小企業・小規模事業者のあらゆる経営上の悩み・困りごとの総合医かつ専門医」として、課題解決に向けて伴走支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■時代の変化により生じる幅広いニーズへの対応</li> <li>■府内の産業支援機関等とのさらなる連携強化</li> </ul> <p>◇新たな取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業における人材戦略の構築サポートの観点から、人材採用支援にかかるコンシェルジュ機能を強化</li> <li>・経営相談室とよろず支援拠点の一体的運営</li> </ul>	<p><b>○設備投資支援</b> 事業の周知と予算の有効活用により、事業者の設備投資ニーズに的確に対応していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■PR強化と利用者負担の軽減</li> <li>■年度繰越への柔軟な対応</li> <li>■総合的な事業者支援の促進</li> </ul>	<p><b>○展示場・会議室等の管理・運営</b> お客様を大切に、ニーズに沿ったスピードのある対応と、積極的なPR、催事誘致を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■マイルームおおさか、産業創造館の相互連携</li> <li>■ニーズへの対応とPR、催事誘致の強化</li> <li>■建物・設備の計画的改修</li> </ul> <p>[事業ボリューム] 予算規模 1,206百万円/年 &gt; 展示場・会議室収益 3,225百万円、利用者満足度90%以上</p>

■財団運営面での新たな取り組み

- ワンストップサービスの機能強化
  - 大阪産業創造館とマイルームおおさかの機能集約・窓口一元化
  - コンソーシアム機能とサービス情報一元化
  - WEBの一元化
- キャラバン隊の創設
  - 地域キャラバン隊による伴走型個社支援・エリア別面的支援
  - 府内信用金庫の「産業局アンバサダー」任命によるプロモーション強化と支援強化
- 大阪産業局におけるデータベースの一元管理
  - ユーザーデータベースの一元化
  - サービス利用企業のデータベースの一元化

■経営目標

最重点目標（支援企業の成果に結びついたかを重視する意味で最重点目標として設定）

成果指標	目標
事業利用による支援企業の成果 売上・営業利益・雇用者数の改善（DI）と府平均値との比較差 （改善したと回答した企業の割合 - 悪化したと回答した企業の割合）	売上高変化DI 損益変化DI 従業員数変化DI
今後、大阪産業経済リサーチ&デザインセンターの協力を得て、上記各DIの大阪における平均値を把握し、大阪産業局が支援した企業のDI実績を勘案した上で、令和2年度中に目標設定する予定	

重点目標（重点3分野と事業規模の大きい設備貸与事業に加えて、サービスの利用促進に効果的な広報や財務の安定性に着目して設定）

成果指標	目標（5年累計）	成果指標	目標（5年累計）
創業件数	650社	設備貸与事業額	95億円
国際ビジネス支援 （海外取引相談、商談等）件数	8,500件	マスメディア掲載件数	500件
事業承継計画策定件数	6,100件	一般正味財産増減額 （事業実施用資産・納税準備積立 資産・貸倒引当金の増減額を除く）	±0